

提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会 実施要領

1 趣旨

提案型協働事業及び市民活動応援補助金交付事業の内容や成果を市民等に公開し、事業の透明性を高めるとともに、市民活動推進委員会による評価や情報交換を行い、市民活動のさらなる発展を促進するため開催する。さらに、新しい生活様式における市民活動の促進に資するよう、市民活動団体への情報提供に係る要素を盛り込んだオンライン参加可能なイベントとして開催する。

2 日時 令和5年6月10日（土）9：30～12：30

第1部 9：30～10：55

第2部 11：05～12：30

3 会場 UMECO会議室1～3

4 主催 UMECO、小田原市市民部地域政策課

5 参加者

区分	人数	参加方法等
市民活動 推進委員会	8人	担当希望事業により、第1部または第2部に割振り 会場参加（UMECO企画展の展示を確認後、各部の開始10分前までに会場へ）
報告団体	10団体（1団体2人まで）	提案型協働事業1団体 市民活動応援補助金交付事業9団体 第1部または第2部に割振り 原則として会場参加（各部開始10分前までに受付）
一般 参加者	会場60人まで	オンライン参加または会場参加 原則予約制（定員に余裕があれば当日可） 入退室は自由

※オンライン参加を希望する一般参加者で、Zoomの使用に不安がある場合は、UMECOによる操作レクチャーを受けることができる。

6 プログラム（予定）

時間	内容	
9:00	Z o o m接続開始、会場受付開始	
9:30		開会、挨拶（委員長）
9:35	第1部	事業報告（15分×5団体） ・小田原寺子屋スクール2の授業および青少年による課外活動 ・素晴らしい絵本を広める会 第5回公演「長野ヒデ子さんとアーサービナードさんお話と紙芝居の会」 ・フリースクールのようなサードプレイス事業 ・バリアフリーおだわらフォーラム事業 ・フードバンク事業による生活に困っている方々への支援
10:55		閉会
10:55		休憩
11:05		開会、挨拶（委員長）
11:10	第2部	事業報告（15分×5団体） ・鉄道をテーマにした市民参加型行事の開催 ・白糸川上流等の整備・根府川城址の整備事業 ・心地よい森づくりと間伐材の利活用 ・ニホンジカ調査と捕獲手法の検討 ・「小田原くくり罠塾 2022」事業～小田原・箱根山地の農林業・生態系を守る捕獲体制づくり～
12:30		閉会

7 事業報告

①発表

- ・各団体の発表時間は8分までとする。
- ・資料は、市に提出する所定の「報告書等」と、任意様式の「発表用資料」とし、「報告書等」は事前にホームページ上に掲載する。「発表用資料」は、Z o o mの画面共有機能で表示する。
- ・他団体の参考となるよう「コロナ禍で工夫したこと」「他主体と連携できたこと」「今後の資金確保策」のいずれかに関する内容を発表に盛り込む。

②質疑

- ・各団体の質疑時間は7分程度とし、進行は司会が行う。
- ・質疑は、評価コメントを担当する委員を優先し、時間が余った場合はその他の委員や司会も発言できることとする。その他の参加者は、「交流シート」（8その他参照）を活用いただく。

8 その他

- ・終了後、参加者から任意で「交流シート」を提出いただき、後日コーディネート等を行う。
（記載項目：報告団体に聞きたいこと、連携したい報告団体）
- ・6月10日から18日まで、UMECO企画展として視察結果等を一般公開する。
- ・報告団体に対し、改めて資料等が公開されることを周知する。
- ・事前の周知については、次の媒体等により実施する。

広報紙（UMECO・市）、ホームページ（UMECO・市）、チラシ配架（公共施設）
 チラシ配布（UMECO登録団体・市民学校、近隣の大学）、市ツイッター 等

小田原市市民提案型協働事業 評価コメント用紙

【記入のポイント】

次の項目について、特に優れている点や課題、改善点などをご記入ください。

- ・ 事業目的（事業の目的や目標を達成できたか。経費に見合うサービスが提供できたか。）
- ・ 役割分担（役割分担は適切だったか。両者の特性が活かされたか。）
- ・ 協働の効果（協働の相乗効果や波及効果はあったか。市民満足度は高まったか。）

発表順	事業名	団体名	所管課

<コメント記入欄>

小田原市市民活動応援補助金交付事業 評価コメント用紙

【記入のポイント】

事業の目的は達成できたか・今後の活動において期待することなど。

発表順	事業名	団体名

<コメント記入欄>

【参考：会場レイアウト等】

○会議室 1～3

